


病害虫発生予察情報予報第5号（大豆：8月下旬）

佐賀県農業技術防除センター

I. 予報の概要及び特記事項

作物名	病害虫名	8月下旬の予想発生量 ^{注1)} (平年比)	予報対象の病害虫 (抜粋)
大豆	ハスモンヨトウ	やや多	 ハスモンヨトウ
	カメムシ類	やや多	
	1. ハスモンヨトウ 各地域に設置しているフェロモントラップでの誘殺状況や農業技術防除センターの情報（ホームページ参照）を参考に、随時、圃場での発生状況を確認する。白変葉が散見され始めた頃が防除適期であるため、遅れずに防除を実施する。		

注1) 予想発生量については、平年との比較により記載しているため、実際の発生量とは相違を生じる場合があります。例えば、例年の発生量が少ない病害虫について「平年より多い」と予想した場合であっても、実際の発生量は多くない場合があります。

注2) 防除対策については「佐賀県病害虫防除のてびき」も参照してください。

佐賀県病害虫防除のてびき掲載アドレス

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji/00321928/index.html

QRコード→



II. 大豆の予報（8月下旬）

定期調査：22圃場

調査日：8月2～4日



定期調査圃場の様子

1. ハスモンヨトウ

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

①定期調査（図1参照）

発生株率 0.3%（平年 0.4%、前年 0.8%）

平年比：並（±）

②トラップ調査（図2参照）

8月1半旬の県内8地点での誘殺数は平年よりやや少ない（-～±）

③今後の気象予報

福岡管区气象台が8月3日に発表した、九州北部地方の1ヶ月予報では、気温は高く、降水量はやや多く、多発生の条件（+）

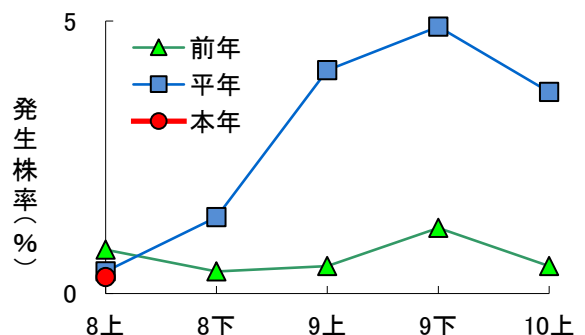


図1 大豆でのハスモンヨトウの発生推移

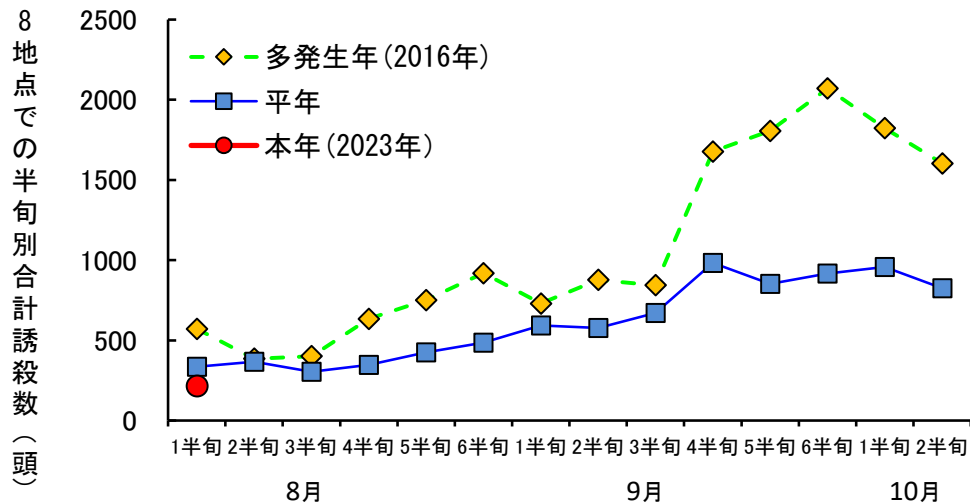


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数(8月1半旬まで)
(農業共済組合、農業試験研究センター調査による県内8地点の平均誘殺数)

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 防除にあたっては、薬剤のかけむらがないよう規定の範囲で十分量を散布する。
- (2) その他については、特記事項を参照する。

2. カメムシ類 (アオカメムシ, イモヅカメムシ, ホリカメムシ, ミミアカメムシ等)

1) 予報の内容

発生量：平年よりやや多い

2) 予報の根拠

(1) 発生の現況

① 定期調査 (図1 参照)

発生株率 0.3% (平年 0.2%、前年 1.5%)

平年比：並(±)

② 今後の気象予報

福岡管区气象台が8月3日に発表した、九州

北部地方の1ヶ月予報では、気温は高く、多発生の条件(+)

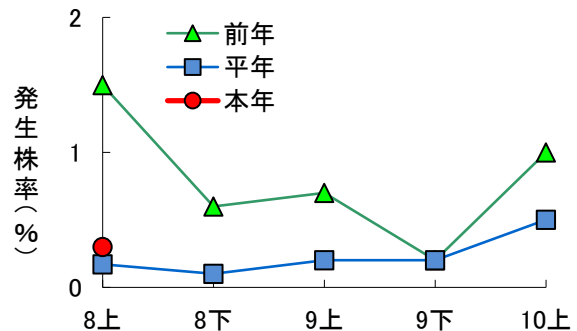


図1 大豆でのカメムシ類の発生推移

3) 防除上注意すべき事項

各圃場でカメムシ類の発生状況を確認し、莢の伸長初期から子実肥大中期に防除を行う。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html



Ⅲ. 予報の内容・根拠等について

予報内容（来月の予想発生量）

- 平年（過去10年間）と比較し「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。
なお、少発生が予想される病害虫等については、予報の概要のみの記載となる場合があります。

予報内容の根拠

- 農業技術防除センターが実施する県内各地での調査、防除員の調査、予察灯・トラップでの誘殺状況調査等に基づく発生現況、気象予報からみた病害虫の発生条件等を基に、関係者による発生予察会議等で決定します。
- 発生現況および気象条件が来月の病害虫の発生に及ぼす影響については、(－)：少発生、(－～±)：やや少発生、(±)：並発生、(±～＋)：やや多発生、(＋)：多発生として示しています。

防除上注意すべき事項

- 各病害虫を防除する上で特に注意すべき事項等を記載しています。なお、全般的な防除対策については「県防除のてびき」をご参照ください（1ページの注釈にリンクが有ります）。

写真

- 1ページ目：予報で対象とした病害虫の抜粋した写真と定期調査時の生育状況を掲載しています。

気象条件

- 病害虫の発生に関与する気象条件については、福岡管区気象台発表の1ヶ月予報（令和5年8月3日）を基に、「気温：平年より高い」、「降水量：平年よりやや多い」と判断しています。

気象予報による要素別確率(%)及び病害虫の発生に関与する気象条件

要素	1ヶ月予報における気象予報（確率予報%）			病害虫の発生に関与する気象条件（平年比）
	低い(少ない)	平年並	高い(多い)	
気温	10	40	50	高い
降水量	20	40	40	やや多い